

緊急 トップインタビュー

キューアンドエー（東京）

代表取締役社長 川田 哲男さん(60)

「Withコロナ」の時代を生き抜く企業リーダーに聞く企画。今回は、仙台にコールセンターを構え今年で15年になるキューアンドエーの代表取締役社長、川田哲男さん(60)です。



—4月初め、仙台のオフィスから新型コロナウイルスの感染者が出ました。

専門家の意見を聴き、検温や換気といった対策に取り組んでいるさなかの出来事でした。フロアの消毒、濃厚接触者の確認などを徹底し、拡大を防ぎました。

—コールセンターは「密」の環境にありました。

電話対応を担っているオペレーターは従来、互いの距離が近かった。政府の緊急事態宣言後は、顧客企業の理解を得た上で稼働率を6～7割に抑え、座席間を広げて、飛沫（ひまつ）の拡散を防止するアクリル板やサーキュレーターを置く

仙台での新卒採用を強化



など、改善に努めています。事業を続けながら、全国に3000人いるスタッフの感染リスクをゼロに近づけた。少しでもリスクとストレスを軽減するため、車や自転車での通勤を認めるなど柔軟に対応しています。幸いなことに、仙台を含めてその後は感染者が出ていません。

—今後の展望は。

新型コロナウイルス

ともに
乗り越えよう

在宅勤務の広がりです。IT機器の必要性が高まっています。われわれの「ITテクニカル支援」という強みがより生かせる環境です。旗艦センターと位置付ける仙台では今年、新卒採用を強化します。感染者が少ない東北で働きたいと、関東や関西からも応募が多数あります。働き方や雇用を取り巻く環境の変化は「コロナ後」に向けた好機の兆しと捉えています。

information

仙台のオペレーションセンターは「仙台トラスト」「仙台青葉」「仙台駅前」の3カ所。企業や採用情報は右のQRコードからホームページにアクセスして確認を。

